



### 第11回「伝統と先端と」展を開催

(一財)自治体国際化協会パリ事務所 所長補佐 吉田 祐介 (岡山県備前市派遣)

#### 「伝統と先端と」展の概要

クレアパリ事務所では、2013年度からの継続事業として、「伝統と先端と」と銘打った企画展を開催しています。今年度は、世界の文化、芸術の発信拠点であるパリの中でも最も有名であろうエッフェル塔のすぐ隣に立地するパリ日本文化会館(11月14日～25日)をパリ会場とし、ディジョン国際美食ワイン館(10月18日～22日)を地方展会場に加え、日本の伝統工芸品の紹介とその展示即売を行いました。

#### 26自治体から出展

今回で11回目を数える同企画展は、過去最大の規模となりました。出展自治体数は、2022年の18から26に増え、それに伴い、出展品総数も333種類から505種類に増加し、前年以上に、バリエーションが豊富な展示が可能となりました。

##### 出展自治体(26自治体)

山形県、東京都、新潟県新潟市、富山県、石川県金沢市、福井県、福井県福井市、長野県、静岡県浜松市、三重県松阪市、滋賀県甲賀市、京都府与謝野町、大阪府堺市、大阪府泉佐野市、兵庫県西脇市、兵庫県丹波篠山市、兵庫県淡路市、奈良県広陵町、和歌山県和歌山市、岡山県備前市、広島県広島市、徳島県、高知県、福岡県福岡市、熊本県、熊本県熊本市

#### PRとあわせて テストマーケティングも

会場は、企画展の名に恥じないよう展示の仕方にも工夫しました。本企画展が来場の目的ではない方にも関心

を持ってもらえるよう遠目からでも目を引く什器を設えたほか、「衣・食・住」をテーマに、アクセサリーから陶器、インテリアグッズに至るまで幅広く取りそろえ、見ごたえのある展示に仕上げることができました。



パリ日本文化会館の外観

本企画展はただ見せるだけではなく、気に入った展示品を購入いただける点も大きな魅力であり、特徴でもあります。販売も行うことで、フランス人の好みをダイレクトに掴むことができ、結果テストマーケティングにつながるというものです。このため、対面で商品説明を行う接客サービスを提供しています。そうしたフランス人とのやりとりの中で気づかされることは、フランス人は、とにかく、その歴史であったり、作り手の思いなど、裏側にある背景を聞きたがるということです。我々、日本人は、「良いものをまじめに作れば売れる」と思ってしまいがちですが、フランス人はストーリーを大切にします。商品が高額になればなるほど、そうした傾向が強まり、そのストーリーの良し悪しが購買行動に大きく影響するということです。また、使い方や用途など、フランスの生活習慣に合わせた提案の仕方も重要で、説明の仕方ひとつで結果が大きく変わります。これらは、現地にいるからこそそうかいい知ることができる生の反応であ

り、面白いと感じると同時に、大きな可能性を感じる瞬間でもありました。



展示スペース

## 売上の傾向は？

パリ展とディジョン展で2ユーロから500ユーロの価格帯の商品が600点以上販売されました。パリとディジョンの会場を比較すると、パリのほうが客単価は上回っており、高額商品が売れる傾向にありましたが、売上総数はディジョンが上回りました。この理由のひとつとして、ディジョンの会場である国際美食ワイン館には食に関連するショップが集積しており、同時期に開催された「ディジョン・ジャパンウィーク」による集客効果もあり、販売数の増加につながったと考えられます。つまり、集客を工夫し、商品が持つストーリーを丁寧に訴求することができれば、おのずと結果がついてくる可能性が日本の伝統工芸品にはあるという証左であり、海外展開を考える上での明るい一面でもありました。



接客の様子

## ワークショップも開催

企画展に関連した事業として、パリ会場では日本の伝統技術を体験できるワークショップも実施しました。「組子コースターづくり」「金属の折り鶴製作」「風呂敷ワークショップ」「銀器の世界」の4つのテーマで日本の地方が持つ魅力を紹介するもので、いずれもほぼ満席の盛況ぶりでした。



食い入るように見つめる来場者

## おわりに

ヨーロッパに目を向ける自治体は確実に増えていきます。コロナ禍で一時足踏みした状態にありましたが、今年に入り、今までの分を取り返そうとするかのように、活発化してきているように感じます。今年はパリでオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。そして、来年には大阪・関西万博が予定されており、ちょうどタイミングが重なるこの時期に多くの自治体がさまざまなイベントに出展しているのを目にします。こうした様子を見るにしたいが、一方で、チャレンジしたいが、何から始めれば良いか分からなかったり、海外展開という言葉に圧倒され、躊躇している自治体も相当数あるのではないかと想像しています。そうした自治体の皆さんにとって、最初の一步を踏み出すお手伝いをすることが本企画展の大きな目的であり、意義であると考えています。

最後にフランスを代表する詩人であるジャン・コクトーの言葉です。

「人生で後悔することは、やらなかったこととする後悔だけ。(Dans la vie on ne regrette que ce qu'on n'a pas fait.)」